

もう悩まない！

時代が求める 接着臨床

詳しい
情報は
こちら



【編集委員】 柵木寿男(日本歯科大学生命歯学部 接着歯科学講座)
小峰 太(日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅲ講座)



新たなマテリアルとの臨床応用や トラブル対応のコツを紹介

接着歯学の分野では、日本発信の優れた材料が世界をリードしている。しかし一方で、保存・補綴臨床の多様化により、各社からさまざまな接着材料が販売されており、適応症の見極めが治療の予後を大きく左右することもある。本増刊号では、現時点での接着材料を整理するとともに、それぞれの適応症と臨床応用のポイントや、今後増えゆくCAD/CAM修復等々、日常臨床で頻繁に遭遇する「接着」の最新情報を紹介いただく。

A4判変型・180頁・オールカラー 本体5,400円+税

CONTENTS

第1章 接着歯学の現状

- いままでといま、そしてこれから 柵木寿男
- 接着材料の種類と用途 小峰 太

第2章 保存関連の接着

- 小児のシーラント処置 中村光一
- 成人のエナメル質の微細亀裂(エナメルクラック)に対する管理
——エナメルコーティング 吉川一志・古澤一範・山本一世
他

第3章 補綴関連の接着

- ラミネートベニア 北原信也
- 金属冠、接着ブリッジ 南 弘之
- レジンブロックへの接着 峯 篤史・矢谷博文
他

第4章 リペア法 トラブル対応症例

- 義歯 川口智弘
- コンポジットレジン 須崎 明
- セラミック 三浦貴子
他

第5章 臨床のヒント

- ボンド層の厚みがコンポジットレジン修復に及ぼす影響
——厚みをコントロールするには 高見澤俊樹
- 接着阻害因子 二瓶智太郎
- 余剰セメントを取り残さないために 松本和久
他

巻末企画

- 私のオススメ「逸品」紹介 他